

平成13年 晴れの叙勲

- おめでとうございます -

平成13年春、秋の叙勲、高齢者叙勲に各分野における功労者として、8名の方々が晴れの受章の栄に浴されました。

受章された方々の栄誉をたたえ、叙勲祝賀会が12月4日、白石蔵王パレスホテルで行われ、約300人の参加者が受章を祝いました。



春の叙勲・勲五等瑞宝章



石垣正壽氏
〔消防功労〕(上久保)

昭和22年白石町消防団員を拝命以来、51年有余の永きにわたり、白石市消防団員としてご活躍されました。この間、副分団長、分団長、副分団長、団長の要職を歴任され、団員の指導育成と市民の生命、財産の保全にご貢献されました。

春の叙勲・勲五等瑞宝章



山田武彦氏
〔郵政事業功労〕(白川小奥)

昭和32年郵政省に入省し、39年に北白川郵便局長となられて以来、33年間の永きにわたり奉職されました。この間、宮城県南部特定郵便局長業務推進連絡会会長などの要職を歴任され、郵政事業の発展、地域振興にご貢献されました。

春の叙勲・勲六等瑞宝章



加藤清氏
〔警察功労〕(寿山)

昭和22年塩釜警察署巡査となられて以来、36年間の永きにわたり奉職されました。この間、白石警察署、若柳警察署などを巡査部長、警部補として務められ、地域社会の治安安定、青少年の健全育成などにご貢献されました。

秋の叙勲・勲五等双光旭日章



菅野信男氏
〔地方自治功労〕(東町)

昭和45年白石市議会議員に就任、58年からは宮城県議会議員として4期16年の永きにわたり宮城県全体のためにご尽力されました。この間、国際化対策特別委員会委員長、文教警察委員長などの要職を歴任し、県政発展にご貢献されました。

秋の叙勲・勲五等双光旭日章



鹿又喜男氏
〔地方自治功労〕(本鍛冶小路)

昭和54年に白石市議会議員に就任以来、20年間の永きにわたり、市政発展のためにご尽力されました。この間、経済常任委員会委員長、白石市議会議長などの要職を歴任され、議会の円滑な運営と市政全体の発展にご貢献されました。

秋の叙勲・勲六等瑞宝章



高橋作男氏
〔消防功労〕(大平森合)

昭和17年に大平村警防団員を拝命以来、46年有余の永きにわたり、白石市消防団員としてご活躍されました。この間、班長、部長、副分団長、分団長の要職を歴任され、団員の指導育成と市民の生命、財産の保全にご貢献されました。

高齢者叙勲・勲五等瑞宝章



二瓶均氏
〔教育功労〕(寿山)

昭和8年朝鮮公立小学校教諭となられて以来、39年間の永きにわたり奉職されました。この間、大平小学校教頭、宮城県教育庁指導主事、丸森町立大張小学校校長などの要職を務められ、青少年教育の充実発展のためにご尽力されました。

高齢者叙勲・勲五等瑞宝章



千葉富彌氏
〔教育功労〕(八幡町)

昭和9年船岡尋常高等小学校教諭となられて以来、39年間の永きにわたり奉職されました。この間、白石第二小学校教頭、福岡中学校校長、白石中学校校長などの要職を務められ、青少年教育の充実発展のためにご尽力されました。

まちかど・ズーム IN!

地域の伝承を引き継ごう

齋川小・ころ柿作り教室



11月22日、齋川小学校の3・4年生が総合学習の時間に、渋柿の皮をむき、干して甘くする「ころ柿」作りに挑戦しました。

エプロンと三角きん姿で参加した28名の子供たちは、柿の種類や皮のむき方などの説明を受けたあと、齋川ボランティア友の会の人たちの指導を受けながら、地域の方に提供してもらった約500個の蜂屋柿の皮をむきました。このあと、一つ一つ丁寧にひもに結んで教室のペランダにつるしました。

地域福祉に役立てて

白石北ロータリークラブが援助金

白石北ロータリークラブ(堀米誠一会長)が11月27日、同クラブ例会の席で、市内5つのボランティア団体に援助金5万円ずつを贈りました。



これは同クラブの社会奉仕事業の一環として行われたもので、推奨状とともに援助金が贈られた5団体(白石朗読サークルれもん、齋川地区ボランティア友の会、森合ボランティア友の会、南蔵王高原1.2.3の会、身体障害者福祉協会越河支部)の代表者たちは、援助金を有効に活用したいと話していました。



市民のニーズにこたえていきます

不忘アザレアが300万円を寄付

みやぎ蔵王白石スキー場を運営しているNPO法人「不忘アザレア」の三浦義邦理事長らが11月30日に市役所を訪れ、昨シーズンの利益の一部300万円を市へ寄付しました。

三浦理事長は「2年連続で黒字となったのは市民の協力のおかげ。市民活動を盛り上げる資金の一部として活用してほしい。これからも市民のニーズに対応したスキー場運営を目指したい」と話されました。同法人は一昨年も2,000万円を市へ寄付しています。

ピカピカの窓で明るい新年を

白川地区ボランティア友の会



白川地区ボランティア友の会の会員約30名が12月8日、特別養護老人ホーム八宮荘を訪問し、ガラスふきの奉仕を行いました。

同友の会は、春には八宮荘で草取りの奉仕活動を長年していますが、このガラスふきは、入所者に快適な気分を新年を迎えてもらおうと、一昨年からはじめました。奉仕を終えた会員たちは「きれいになったね、また来年も」と話していました。



親子で楽しく



パソコンで年賀状作成

11月23日から25日まで情報センター「アテネ」で、パソコンを使用して年賀状やクリスマスカードを作るイベントが開催されました。

参加した親子連れなど約40名は、パソコンのソフトを使って今年のえとの「うま」を丁寧に描いたり、自宅でCD-ROMなどに保存してきた画像を加工して、思い思いの心のこもった作品を仕上げっていました。

歌や踊りでふれあう

本郷第三福祉のまちづくり

本郷第三福祉のまちづくり推進協議会(松本吉一会長)の会員が先日、仙南サナトリウムを慰問し、入院しているお年寄りたちと交流しました。



福祉施設との慰問交流会は、「福祉に関する勉強会」地域のお年寄りたちとふれあう「みんなで楽しむ会」と並ぶ協議会の3大事業のひとつで、今年で12回目。慰問した約30名の会員は、入院患者たちと一緒に演歌や童謡などを歌ったり、舞踊やアコーディオン演奏などを披露しました。